

はじめに

児童・生徒の教育は、知育、徳育、体育で構成されており、心身共に調和のとれた人格の完成を目指して行われることが基本です。特に、体力は、人間のあらゆる活動の源です。病気やけがになりにくいだけでなく、意欲、気力、忍耐力などの精神面の充実にも深く関わっています。さらに、運動不足による生活習慣病の増加は、医療費の増加などの保健・医療政策に対し、働く意欲の減退は労働力など社会の活力にも大きな影響を与えることにもなりかねません。

現在、我が国の次世代を担う子供たちの体力が長期的に低下傾向にあり、保護者の世代より大きく低下しているということは、将来の東京都にとって極めて重大な問題です。このため、都教育委員会は、平成 21 年 6 月には「子供の体力向上推進本部」を設置し、様々な検討を経て、平成 22 年 7 月に「総合的な子供の基礎体力向上方策（第 1 次推進計画）」を策定したところです。

これまで、都教育委員会は、児童・生徒の体力の状況を明らかにし、体力向上に向けた施策に結び付けるための学校体育と行政指導上の基礎資料として、昭和 41 年以来、区市町村教育委員会及び学校の協力を得て、「東京都児童・生徒の体力テスト調査」を実施してきました。この調査は、毎年約 6 万人の児童・生徒の体力テストの実施結果を基に、東京都全体の傾向を分析してきており、貴重な統計資料となってきました。しかし、約 94 万人以上が在籍する東京都の児童・生徒の約 6.4% の抽出調査であるため、東京都全体の傾向を把握することはできますが、児童・生徒の一人一人の体力の経年変化、学級・学校や地域等の集団の傾向を把握することが難しいという課題がありました。

第 1 次推進計画においては、今後、児童・生徒の体力低下の原因や地域の特徴を究明し、一人一人の体力・運動能力の現状を踏まえた対策を講じていくためには、小学校から高等学校に至るまで、全ての学校及び学年において、東京都としての統一的・継続的な実態調査を行うことを検討するとしていました。

このため、都教育委員会は、平成 23 年度から、児童・生徒の体力の現状を把握し、その結果を学校や児童・生徒に還元し、一人一人が体力向上に取り組めるようにするため、都内公立学校の全児童・生徒を対象とした「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査（東京都統一体力テスト）」を実施することにしました。

この度、平成 24 年度の調査結果を取りまとめました。本調査結果を、区市町村教育委員会における体力向上に係る施策の基礎資料とするとともに、学校だけではなく、家庭や地域、そして関係する様々な団体と共に、社会総がかりで児童・生徒の体力向上の実現に役立てていくことを期待しています。

目 次

●第1章 調査の概要	
1 調査の目的	4
2 調査の名称	4
3 調査校数	4
4 調査の対象	4
5 調査の方式	4
6 調査事項	5
7 調査実施期間	5
8 調査結果に関する注意事項と説明	5
●第2章 平成24年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果	
1 調査結果の概要	9
2 東京都の平均値一覧	10
3 体格調査結果	14
4 体力・運動能力調査結果	16
5 生活・運動習慣等調査結果	20
6 学校質問紙調査結果	32
7 平成21年度体力・運動能力調査（全国調査）結果との比較	35
8 平成14年度（10年前）の東京都調査結果との比較	47
9 昭和56・57年度（30年前）の東京都調査結果との比較	59
10 体格及び体力・運動能力の種目別平均値14年間の推移	62
11 生活・運動習慣等調査結果と体力テスト合計点との関連	72
12 5年前（平成20年度）の東京都調査結果との比較	75
●第3章 区市町村別調査結果	78
●第4章 都立中学校・公立中等教育学校調査結果	128
●第5章 高等学校（全日制）調査結果	134
●第6章 高等学校（定時制・通信制）調査結果	188
●第7章 調査に関する考察	210
[参考資料]	220